

---

# 春の唄

水元あくあ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

春の唄

### 【Nコード】

N5302J

### 【作者名】

水元あくあ

### 【あらすじ】

一人の語り部が紡ぐ話

雪がシンシン降る土の中で小さな小さな花が咲く

冬の凍てつく大地にも、春の兆しは見え始め、命が一斉に芽吹く。

しかし冬は言う

「冬の寒さの中にも命の神秘は産まれる」のだと。

語り部が、人々に語り継いでほしいと残していった話。

ある寒い冬のこと。

一人の無精髭を生やした男が、サクサクと雪の上を踏んでいた。  
粉雪がちらつく、とても寒い夜だった。

「母ちゃん待ってろよ」

と男が踏みしめた後ろには小さく、しかし確かに足跡が残っていた。

呼ばれた医者とは年老いていた、しかし事情を知った医者は急いで村へと向かった。

母親は紐をつかみ、必死に医者を待っていた。

新しい命が今、産まれようとしているのだ。

産婆がかけつけ、やっとの産んだわが子を胸の上に乗せた母親は

冬の間に咲いた一輪の花をその娘に授けた。

山茶花。

やっと会えたね と母親はつぶやいた。

そして冬はやがて暖かい春へと変わる

そしていつか・・・

君の笑顔にみんなの心にも花が咲く

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5302j/>

---

春の唄

2011年10月4日13時28分発行